

11/22 JICA 海外協力隊
竹中勇輔さん派遣

JICA海外協力隊として来年1月から2年間パプアニューギニアへ赴任される竹中勇輔さんが町長を訪れ、意気込みを語りました。

竹中さんは2年間パプアニューギニアで現地の病院に勤務し、理学療法士として、リハビリテーションの普及や実習生への指導などを行います。

竹中さんは「パプアニューギニアは理学療法が認定されて10年ほどしかたっていない歴史の浅い地域。自分が学んできた知識、経験を生かして派遣先のために頑張りたい。今回派遣で得た経験を日本に帰ってきてから様々な形で還元したい」と話しました。



11/26 活字ともっと親しんで
上士幌小学校選書イベント

11月26日、上士幌小学校で選書イベントが開催されました。今回は本町出身で、札幌市で今年オープンした「かの書房」の加納あすかさんが250冊の本を用意し、図書委員の児童を中心に欲しい本の投票を行いました。

加納さんは「今回は、読みやすく文章を楽しめる本を選んで持ってきた。ぜひ活字を楽しんでほしい」と話し、参加した児童からは「自分たちで本を選べることはなかなかないのでいい機会。読みたい本がたくさんあった」と話しました。



写真左から舟根澄雄さん、西田留里子さん、吉田守さん、水越シゲ子さん、松野まさ子さん(大熊清美さんは当日欠席)

12/3 上士幌の森林が受賞
森と人を育てるコンクール

上士幌町で森林を所有している帯広市在住の眞鍋智紀さんが森と人を育てるコンクールでカラマツ部門優秀賞を受賞しました。このコンクールは森林の適切な管理、育成を行い、地域の模範事例となる森林所有者に贈られます。

眞鍋さんは「山林は父から受け継いだもので、この賞を心の支えとしてこれからも森林をより良いものにするよう尽力したい」と語りました。



糠平小学校閉校記念式典
・学習発表会 11月30日



11・12月の
まちのわだい



ぬかびら源泉郷功碑除幕式 11月25日



上士幌町総合防災訓練 11月24日



11/14 帯広地方法人会上士幌地区会
帯広税務署長賞受賞

11月14日団体活動を通じて納税道義の高揚に功績があった帯広地方法人会上士幌地区会が、帯広税務署長より表彰状を授与されました。

表彰式は、毎年11月の「税を考える週間」に開催されており、上士幌からは、法人会代表の長屋光男会長が出席して、十勝管内の功績団体・個人とともに受賞されています。(前列右から4番目：長屋会長)



読者からの投稿
上土幌中国文化倶楽部
第4回
中国体験研修旅行
北京四泊五日顛末記

文 山田 孝男さん

その二

3日目 国家大劇院でのコンサート

今回の目的の一つオーケストラの演奏会。この日はもともと夜のコンサートでしたが、国慶節の練習のため変更になり、昼コンサートになりました。席も今回は奮発して1階のオケの前席です……。世界で活躍している若者を集めて作ったオケです……。リムスキーコルサコフの曲やモーツァルトのピアノコンチェルトなど若々し

インユエフォエ
「音乐会」

く素晴らしい演奏でした……。上土幌ではこのような機会がないので皆さんフルオーケストラの音に感心されていました。近い将来はクラシック音楽界でも中国でも世界的なオケができる気がしました……。午後5時からは今日もアフターヌーンティー。耳で感動、味覚にも満足……。素晴らしい1日でした。

4日目 世界遺産「万里の長城」—北京動物園でパンダと対面—イーロンの事務所見学

今日は観光の1日です。予約したリムジンでまず人工衛星から見える唯一の建造物「万里の長城」を見学。普通観光で行くのは八達嶺ですが我々は慕田峪長城に行きました……。山腹をどこまでも続く長城……。皆さん登られましたがあまりにも長いので途中で戻られましたが皆さん汗びっしょりでした。このような建設物よく作ったものだなーと感心していました。次に北京動物園でのパンダと面会でしたが中秋節の3連休だったので人が一杯でした……。パンダがお昼寝タイムだったので可愛いポーズで寝ていました……。最後に友人の事務所に行き見学とおしゃべりをしました。その後イーロンの接

待でわたしたちが見てもびっくりするような超豪華な中華料理をいただきました。特に北京ダックは最高でした……。イーロンに感謝感謝……。ちなみに彼とは30年来の友人です。



5日目 帰国「回国」の途に ホテル—北京空港—新千歳空港—上土幌

最終日は早朝に皆さんホテルからの朝食パックいただき、スマホで予約したリムジンで一路北京空港に行き、直行便で新千歳に戻りました。皆さん貴重な北京での体験

を胸に無事上土幌に戻ってきました。皆さんご苦労様でした……。



参加者の感想 (一部抜粋)

ワクワクドキドキの北京の旅想像もつかない高速道路私の足にも自然に力が入る。私の頭の中は何十年前の中国だ？想像していなかった携帯での支払い音楽を聞き、美味しい物食べて万里の長城に登り、パンダに会って4泊5日の充実した旅。もしまだ北京に行ったなら万里の長城を最後まで挑戦したい。珍道中の旅楽しかった。そしてお世話になりました。……IFさん

上土幌高校「上土幌学」

特集

上土幌学の集大成として、12月12日(木)に「上土幌学活動報告会」が生涯学習センターわっかにて行われました。

上土幌学とは、町の自然や歴史、特産品などについて体験的に学び、地域を知る取り組みです。

4月から学んだことを生徒たちがまとめ、実際に町の事業所や町民の方から教わったことを紹介。当日は、13のブースが用意され、各グループで発表が行われました。



上土幌学とは？

平成26年に上土幌高校がユネスコスクール[※]に認定されたことから、持続可能な開発のための教育を推進する一環として、地域を理解する教育が実施されています。

町の自然や歴史、特産品などについて学び、地域を知る取り組みが始まっています。

※グローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流することで、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すもの。



地域を変えていく新しい力

地域おこし協力隊活動報告



TITLE: 創生

記: 観光誘客組織づくり推進員 原田 耕一

5月の国内最高気温37度超えをした5月26日に上土幌にやってきて「なんて日だと」叫んだ日から7か月……。新しい時代令和も年の瀬を迎えております。人生初の北海道生活は経験の無い積雪量、水道管も凍らせて、マイナスの気温に身体が全く追いついていけず……。体調管理も慎重な五十路のつぶやきも誰にも聞いてもらえず。

振り返ると6月からのナイトイテラスでの勤務は、バタバタバタバタの連続でしたが、THE上土幌。と呼ぶにふさわしい素晴らしいロケーションとならではの十勝ナイトイテラスを使用した食事、映えする牛ソフトなどで、上土幌町でしか味わえない感動を、訪れた一人ひとりの来場者の心に刻み込まれたと自負しております。

10月末で無事に今年のナイトイテラスの営業を終えることができました事を改めて御礼申し上げます。そして今年の実績をして、現在はスタッフ全員で来年の新メニューの開発、新たな商品の選定しております。

また来年は一大プロジェクトの道の駅の開業を控えております。上土幌町の特色を活かした商品開発をはじめ今までの道の駅にはないワインを楽しめるフルサービスのレストランの開業、一人ひとりの経験、知識を集結して、今こそONE TEAMで《創生》します。新しいものを作る苦労と出来上がる喜びも共有しております。

また、町の皆さまの力も今まで以上に必要としております、2020年の上土幌を皆さまで盛り上げていきましょう。一緒に働いていただけの方も募集しておりますのでよろしくお願いいたします。



川柳

湯に浸かり疲れと悩み癒される
無理をして秘湯のために雪道を

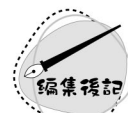
河村 大 喜代子
一郎

短歌

永劫に二度とは会へぬかなしきか雲のそらに押しつぶされるつ
南瓜のたね多めに添へて待ちをれどエゾ・リスひたとその後は現れず
今日いちにち降り込めし雪のいまは止み昏る、がま、のひそまりに居し
令和なり第一号の喝采は「家族って最高」ラインのひと言
さをり織り道の駅にてストールを売れる楽しみ抱いて織りし
白樺の仕事さまさまさをり織り刺子をしたり仲間とともに
年の瀬の料理を作る父のこと思い出しつつ仏壇かざる
畑守る防風林の無くなりてつむじ風起き強く吹き過ぐ
雪だるま作りたくなる今日の雪見る見るともり野原をつつむ
朝からの作業の後の白樺に昼餉の時間を皆と楽しむ
惣菜を買ってのせたる自転車をつるツル路面は押して歩けり
ジャスミンのお茶に寛ろぐカフェに久々会ひし友は華やぐ
学芸会弟の出番楽しみだ来年はもっと上手になつてね

悼む坂田寛さん

佐石 中 米 高 松 鈴 小 米 尾 本
藤 川 村 森 木 田 木 松 森 野 間
葵 裕 仁 博 誠 理 義 真 よ し 葉
衣 子 志 樹 也 恵 豊 美 弓 乃 風



● JICA海外協力隊の表敬訪問の取材に行かせていただきました。実は保育所時代からの友人で、今回大きな挑戦をするタイミングで再び会うことができ非常にうれしく思いました。取材に行くといういろいろな方とお話させていただく機会があり、これが広報担当の楽しさだなと感じます。…Y

● 今回の表紙は糠平小学校の閉校記念式典です。出席者の中には私が教育委員会に在籍していた頃、社会教育事業で関わりのあった子どもたちも出席していました。立派に成長した姿を見て、なんとも言えない感慨深さを感じたものです。当時のふるさと発見キャンプで私が「鹿だ」とテンション上げていたところ、糠平の子どもに「鹿なんてどこでもいるでしょ」と書められたのを思い出します。…T

がみしほろ 2月号は 1月24日(金) 発行予定

令和元年 11 月末現在の 人口

男 性	2,420人(-1人)
女 性	2,539人(±0人)
人 口	4,959人(-1人)
世帯数	2,549世帯(-4世帯)

令和元年度 ふるさと納税寄付金

11 月分	8,350 件	175,296,504 円
累計	43,719 件	703,061,504 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※12月16日現在

- 上士幌町民憲章
- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
 - 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
 - 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
 - 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
 - 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

上士幌高校です!

文責：教頭

TITLE:薬物の恐ろしさを学びました

11月11日(月)、帯広の長原配送代表取締役、長原和宣様をお招きし、薬物乱用防止講話を行いました。長原さんの実体験をもとにした講話ということで、どのような話をしてくださるのか、非常にドキドキしておりました。穏やかな口調で始まりましたが、話が進むにつれ、本当に生々しい体験を、強烈に、力強く、熱く語り、薬物の恐ろしさを、怖さを、生徒達へ訴えていただきました。自分の身体をボロボロにさせてしまうことは勿論、大事な家族、家庭、愛する人までも、全てを崩壊させてしまう非常に恐ろしいモノであるということ、赤裸々に語っていただきました。中には、死んでしまう人もいた・・・、自分は、警察に捕まったおかげで生きている・・・と。つい最近も、有名人が相次いで逮捕されています。この講話は、生徒達の心へしっかりと確実に伝わったと思います。



△自分の体験を隠すことなく語っていただきました。



△想像を超える実体験に圧倒されました。



自分の身を守ることを学びました

文責 加藤 駿

12月2日(月)に「防犯講話」があり、帯広警察署と上士幌駐在所の方から、不審者に捕まってしまった場合の対処法としての「護身術」について説明を受け、さらに生徒同士で実際に体験することができました。

不審者に会わないようにするのが一番良いですが、もしも出会ってしまった場合のための護身術であり、いくつかの方法があります。その中でも一番使えそうだと考えたのを一つ教えたいと思います。それは「もし不審者に手を掴まれた時は、相手の親指を持って逆関節の方に曲げる」です。こうすることで指に力が入らなくなって相手の手はずして逃げる事が可能となります。とても便利ではありますが、まずは逃げることを前提に考えましょう。



△講師による実演を観ました



△自分たちでもやってみました



△駐在所の浦波さんによる解説です